

# 第 24 回総合学術研究集会 in 大阪

新型コロナウイルス・気候危機下の科学と社会

—脱炭素・脱原発・脱貧困を求めて—

2022 年 11 月 19 日(土)～12 月 11 日(日)

会場: 大阪大学とオンライン

## 第 24 回総合学術研究集会開催に当たって

1976 年以来、隔年で開催されてきた日本科学者会議主催の総合学術研究集会は、24 回を迎え、今年 11～12 月に大阪において開催します。メインテーマは「**新型コロナウイルス・気候危機下の科学と社会—脱炭素・脱原発・脱貧困を求めて—**」とします。

世界は、コロナ禍、気候危機、空前の規模で広がる貧困と格差の拡大など、人類の存続にも関わる大きな岐路に立たされています。コロナ禍と気候危機は人類による自然生態系と地球環境の破壊によるもので、人間活動が既に環境容量の限界を超えています。

核兵器禁止条約発効を契機に核兵器廃絶の運動が高まる一方、ウクライナ、台湾、朝鮮半島などでは緊張状態が続き、武力攻撃の応酬や核抑止論から抜け出して真に平和な社会への道へ踏み出す岐路でもあります。規制緩和・市場原理政策で、多国籍企業と少数者への富の集中と貧困の拡大をもたらした新自由主義に対し反発が起こっています。

日本では、コロナ禍で国民生活は深刻なしわ寄せを受け、貧困・格差が著しく拡大しています。岸田首相は憲法 9 条改憲に執念を燃やし、軍事費は 5 兆円を大きく超え、「敵基地攻撃能力保有」など海外で戦争する体制を築きつつあり、「軍学共同」を強めています。また、内閣府の学術会議人事への介入など、学問の危機は深刻さを増しています。

世界では、気候危機の解決をめざし「脱炭素社会」が強調されています。日本政府は「脱炭素化」をアピールしますが、法規制でなく大企業の自主活動に依存し、国内最大の CO<sub>2</sub> 排出源である石炭火力発電や環境破壊・生活破壊リスクの大きい原子力発電に依存したエネルギー計画に固執し、気候危機に不誠実な態度を取り続けています。

社会が直面するどの課題でも、個人の尊厳が守られ豊かな前途につながる新しい選択肢の探求が求められており、社会はそのための科学を切実に求めています。今まさに日本科学者会議の出番です。日本科学者会議は、幅広い研究分野の研究者が、専門を超えて結集した団体です。社会の切実な要求に応えるため科学的根拠を提示する必要があり、第 24 回総合学術研究集会をそうした議論と交流の場として成功させましょう。

実行委員長 畑 明郎 (滋賀支部代表幹事)

## 分科会の設置を募集します

分科会を募集します。会員ならだれでも分科会の設置申請ができます。ふるってご応募ください。分科会のテーマ設定の便宜のために、23 総学の分科会を示します。これらをひとつの参考としつつ、多様なテーマの分科会をぜひご提案ください。

### A コロナ禍を乗り越え、よりよい社会へ

A1 分科会：コロナパンデミックと日本社会

A2 分科会：コロナ禍における学生の学び—ポストコロナを展望して—

A3 分科会：コロナ禍を乗り越えるため国立試験研究機関・保健所・病院はどうあるべきか

### B 個人の尊厳、ジェンダー平等、多様性の尊重

B1 分科会：新型コロナ禍における女性研究者・技術者の困難と課題

### C 平和な時代を拓く

C1 分科会：新型コロナウイルス危機と日本国憲法—危機便乗改憲を許さないために—

C2 分科会：平和問題分科会—核兵器と日米安保体制、沖縄の新基地建設—

C3 分科会：韓国フィールドワーク報告会

### D 地球環境の危機的状況の克服、原発問題の解決、防災・減災、災害復興

D1 分科会：気候危機に立ち向かう—自然エネルギーと省エネ社会の実現に向けて

D2 分科会：南海トラフ巨大地震への備え

D3 分科会：脱原発・最終処分課題

D4 分科会：公害・環境問題の現在

### E 人間らしい労働、暮らしを守る経済、地域社会の再生

E1 分科会：日本の農と食の安全を考える

E2 分科会：ポストコロナ&アメリカ大統領選後の資本主義経済—世界と日本はどうか？

### F 科学・技術の現状批判と課題

F1 分科会：自然科学の進展を俯瞰する

F2 分科会：第8回複雑系科学シンポジウム—複雑系科学と2020年代の世界観

F3 分科会：リニア中央新幹線問題の検討と運動・経験交流 part4

F4 分科会：科学技術の現状批判—日本の科学・技術の健全な発展のための課題 part12

F5 分科会：科学技術サロン—日本の科学・技術の現状とロマンを語る part13

### G 学術研究体制の危機と大学・研究機関、研究者の権利・社会的責任

G1 分科会：高等教育の危機に抗するために—コロナ危機の下、大学等で何が起きているのか？

G2 分科会：民主的市民性教育のために—ドイツの政治教育に学び日本への応用を図る

G3 分科会：企業としての大学・研究機関—法人化を転じて福と成そう—

G4 分科会：いま改めて研究者の権利・地位と倫理を考える

G5 分科会：市民と科学者を結ぶ雑誌『日本の科学者』の歴史的役割と展望

### H 文化、芸術、スポーツ、思想、その他

H1 分科会:文学は、疾病・大感染をどう描いてきたかー内外の文学作品鑑賞の交流会

H2 分科会:優生思想の過去・現在・未来

## ＜分科会設置の申込要領＞

- 分科会設置の**申込み締め切り**は2022年**5月10日(火)**とします。
- 申込は原則としてeメール(**実行委員会アドレス**:24sogaku@jsa.gr.jp)とします。
- 分科会設置申込書は、JSA ウェブサイト(<http://www.jsa.gr.jp>)24総学のページにあります。この申込用紙に氏名、所属、連絡先、分科会名、設置の趣旨(200字程度)を明記してeメールに添付し送信してください(郵送も受け付けます)。

### 24 総学 in 大阪 日程概要(企画の都合で一部変更となる場合もあります)

月/日 (曜日)	9:30~ 12:00	13:00~ 15:30	15:45~ 18:15	18:30~ 20:00
11/19(土)	全体会1	全体会2	全体会3	予備
11/20(日)	分科会1	分科会2	分科会3	予備
11/23(水)	分科会4	分科会5	分科会6	予備
11/26(土)	分科会7	分科会8	分科会9	予備
11/27(日)	分科会10	分科会11	分科会12	予備
12/3(土)	分科会13	分科会14	分科会15	予備
12/4(日)	分科会16	分科会17	分科会18	予備
12/10(土)	分科会19	分科会20	分科会21	予備
12/11(日)	分科会22	分科会23	全体会4	予備

注:分科会1~分科会23は仮設定です。分科会が決まってから日程調整します。

全体会1は開会式・特別講演1、全体会2・3は特別講演2・3、全体会4は分科会交流会・閉会式です。全体会はハイブリッド、分科会はオンライン開催ですが、コロナの感染状況によっては全体会もオンラインの可能性もあります。予備に設定していただいても構いませんが、実行委員会でのサポートができない場合もありますのであらかじめご了承ください。

### 第24回総合学術研究集会実行委員会 (2月28日現在、五十音順)

**実行委員**:◎畑明郎(滋賀支部)、○河野 仁(研究企画部長)、☆左近拓男(京都支部)、長野八久(編集委員長)、今岡良子(大阪支部代表幹事)、小笠原京子(大阪支部)、牧良明(大阪支部)、高作正博(大阪支部)、竹中寛治(京都支部)、近藤真理子(京都支部)、後藤隆雄(兵庫支部)、木村良夫(兵庫支部)、小島彬(滋賀支部)、溝川悠介(奈良支部)、此松昌彦(和歌山支部)

◎:実行委員長、○:副実行委員長、☆:事務局長

日本科学者会議 第24回総合学術研究集会実行委員会

〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-15 HYビル(茶州ビル)9階

Tel:03-3812-1472 Fax:03-3813-2363 e-mail:24sogaku@jsa.gr.jp <http://www.jsa.gr.jp>